

5月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



5/14 「気持ちを伝える」をテーマに母の日のメッセージカードと6月の体験会にむけてのメッセージカードを作りました。



導入では3グループに別れての伝言ゲームをしました。正確に伝えないといけないのに他の人には聞こえないように小さな声で伝えるってのは難しいね。メッセージカードには段ボールで作ったスタンプを押したり、折り紙やシールを使ってデコレーションをしました。母の日のメッセ

ジカードには必ず手形を入れました。「いつもありがとう」などスカウトのすなおな気持ちが入っていました。体験会用のカードは、1人〇枚ノルマ…とか言ってスタートしましたが楽しくてたくさんできました。(結果的には楽しみながらノルマ達成!)それぞれ素敵なカードができました。



5/28 今回は東村山駅から八国山緑地・北山公園経由で多摩湖までのコースを歩きました。集合場所の東村山駅にある志村けんさんの銅像に反応したのは保護者。スカウトはあまりピンときていなかったなあ。

そこからグループ毎に八国山緑地を目指しました。公園一面に

広がる菖蒲は綺麗でした。勝負は6月が見頃だそうです。そのあと、八国山たいけんの里に行き、縄文時代の土器や動物の骨、木製の道具などを見ました。また弓矢体験とどんぐり工作を

ト達も飛ばせるようになる自信あふれる顔に変わってました。工作で作ったどんぐりトトロはハイキング中、大事に持って歩いていました。

芝生広場でお昼を食べて狭山公園へ移動。公園で少し遊んだあとは大きな壁を上りました。その先に広がる多摩湖は壮大でした。堤防の上からみた狭山丘陵の風景もとても美しかったです。今回のコースはトトロのモデルとなった場所がたくさんありました。



また弓矢体験とどんぐり工作を



カブ(CS)隊



5/4 野外組集会 ゴールデンウィークの狭間、カブ隊野外組集会をボーイ隊のキャンプ場にお邪魔して実施しました。

北総懇談線の白井駅から約30分のハイキング後、船橋市大神保キャンプ場に到着しボーイ隊長にご挨拶。その後お昼ご飯のお手伝いとしてマキ拾いスタート。細い小枝から太い薪まで。焚き付けの杉の葉も覚えて沢山集めました。また、いつもの折り畳み組旗の棒を、自然の木を探して限定組旗に。この日のお昼は持参したカブ弁プラス味噌ミルクスープ。





火起こし見学と、調理の2グループに分かれて途中交代し、調理はジャガイモ/玉ねぎ/ニンジン切りを体験。味噌風味のミルク味スープと一緒にオニギリのお昼ご飯を楽しみました。午後はキャンプ場がロープの世界に早変わり！ボーイ隊の8つのコーナーに組ごとに結びや国旗掲揚を学びながら、ポイントを巡りました。中でも“レンジャー隊出動！”というコーナーが人気で、ザイルが体重

の重さで体に食い込む痛みをこらえながら一步一步(一手一手)進んでゴールを目指しました。

総合優秀の3組の記念綬が、組旗に付けられ組集会終了。カブ隊に上進したばかりのうさぎスカウトも、ロープに親しむ組集

会でした。

5/14 組集会 5月のテーマ“サインを追って進め”は、サイン-マーク-標識-記号をテーマに瞬時に意味を理解できるマークを理解することで、道路標識を見て危険を察知したり、行く先を知ることが出来る事を知って体験する集会でした。道路標識は色や形で、禁止、案内、注意、安全などを表し

ていて、車のためだけでなく、スカウトたちにとっても道の状況を知ることが理解しました。基本的な追跡記号を教わった上で、街中追跡ハイキングに出掛けました。

追跡記号を追って、道路標識を見つけながら、途中に困った公園などでの課題もクリアしながら、無事全組目的地に到着しました。今回の経験を踏まえ、次は青梅へのハイキングで山の中でも追跡ハイキングです！

5/28 赤ぼっこハイキング 5月のテーマ“サインを追って進め”の仕上げとして青梅でのハイキングにやってきました。青梅線宮ノ平駅で配布された暗号の指令書を解読後、各組ごとに出発。追跡記号を追って最初のチェックポイント和田橋に。ここで最初の課題は、上流のダムが増水で放流した時のサイレンの調査。橋のたもとにある看板

を見つけて報告。2つめは、コンパスで南東の山の上にある高い一本杉を特定。その木は何かは後で種明かし。

その後しばらく舗装道を進んだあと山道に。きつい山道をみんな頑張って登り、木陰が続く峠や天狗岩の横を通って急に開けた明るい場所に出たところが赤ぼっこでした！素晴らしい眺めのチェックポイントで、サインで指令書の場所を探して解読した後、頂上にあるまっくろくろすけに囲まれたととのりのポストにみんなで手紙を書きました。その後、お昼を食べながら橋から見た一本杉と上から見る和田橋を確認し、下りの途につきました。今期初めての山登りだったけれど、長い距離のハイキングの中、現地の歴史や名前の由来など、自発的に調べて報告してくれる組も有ったりして、みんな成長してます！

ボーイ(BS)隊



5/3-5 ウェルカムキャンプ

ボーイ隊へようこそ！カブ隊から上進してきたスカウトを迎え、初の新班体制でキャンプを行いました。また、今回は千代田6団さんからも1名の





スカウトが参加し、賑わいのあるキャンプとなりました。場所はお馴染みの船橋市泉民の森にある青少年キャンプ場、上進してきたスカウトも月の輪時代に訪れたことがあるから少しは馴染みがあるかな？昨年度末の春キャンプとは真逆で、全日程天候に大変恵まれました。初日は、各班キャンプ場9時30分集合厳守！とし、今までのように引率のない新しい形での集合となりました。班長を筆頭に、みんなで協力しながら船橋へ向かいました。

開所式を終え、早速設営へ。新入スカウトも交え、設営の計画を立てました。

午後は隊集会と題して野営講習会。ナイフの使い方、野外料理には欠かせない火付けの特訓を行いました。先輩スカウトも改めて技能を再確認する場になったかな？新メンバーで迎える初の夜。新人スカウトは少し戸惑いながらも、班長の指示のもと炊事を行い、おいしい夕食を食べました。その後はナイトゲームを行い、体をたくさん動かして1日目終了。

2日目はオリエンテーション。隣接する泉民の森を使い、スカウト技能を駆使したプログラムを実施しました。ここで新人スカウトがつまづく場面もあるも、優秀な先輩スカウトの指導もあり乗り越えることができました。やる事がたくさんで少し疲れちゃったかな？午後からはカブ隊が合流！カブ隊のスカウトと合同プログラムを実施、ロープ結びをテーマとしたラリーゲームを行いました。カブ隊スカウトへの見本になれたかな？

カブ隊を見送り、夜はキャンプファイヤー。キャンプ最終夜の定番。班でスタンツを考えてリーダーや他の班の前で披露しました。夜話などを交えて、各自が今回のキャンプを振り返りました。キャンプファイヤーって落ち着くし、色々なことを考えられるよね。

そしていよいよキャンプ最終日。撤営へ。設営と同様に、各班のスカウトそれぞれが協力して取り組んでいました。お昼には撤営も終了。いよいよ中野へ帰ることを残すのみに。新人スカウトにとってボーイ隊に上進し、初のキャンプ。今後のスカウト人生に残る思い出になったのではないのでしょうか。



5/21 中野区ふれあい運動会奉仕

中野区主催の障害のある人もない人も、みんなが参加できる運動会にベンチャー隊と一緒に奉仕参加しました。本来であれば毎年5月の恒例行事なのですが、コロナの影響で中止となってしまう、今日は4年ぶりの開催となりました。コロナも5類に移行し、緩和方向に向かっていることを喜ばしく感じ

ます。スカウトは主に、競技参加者が到着したらバスからグラウンドへの誘導、プラカード持ち、ゴールライン上でのゴールテープ張り、などを中心に行いました。パン取り



競争や、宝さがしはスカウトも競技に参加し、会場全体が一丸となって盛り上がりました。4年ぶりの開催となってしまったふれあい運動会。スカウト達の奉仕のおかげで、何事もなく無事に終えることができました。



5/28 野外隊集会

野営技能を高めるべく、隊主催の野外集会を行いました。場所は、東京都八王子市にある地藏山野営場。広くて起伏が激しいキャンプ場で、野営訓練にはもってこいの場所でした。今回の訓練内容は、キャンプで

必要不可欠なロープワークや火おこし、そして刃物の使い方。午前中は、ロープワークと刃物の使い方に着目し、各班で立ちかまどを制作しました。5月頭に行われたウェルカムキャンプでも、同様のプログラムを実施しましたが、少し手間取っているようでした。完了目標時間を過ぎてしまうも、ハンドブックを確認したり、班員みんなで協力



しあい、なんとか完成することができました。ここでつまづいてしまったのか、何が原因だったのか。今回の反省点を次回に生かせるといいね。午後は気を取り直して火おこし訓練。こちら



も野営においては不可欠な事です。薪を集め、火種を作り、新米スカウトも積極的に取り組んでいました。結果的に火起こしは成功しましたが、まだまだ改善

できることがありそうです。

ここでめげずに、経験が無駄にしないように次に繋げて行こう！解散時間は予定より過ぎてしまいましたが、どのスカウトも全力で取り組み、良い訓練集会となりました。



ベンチャー(VS)隊



5/3-5 ボーイ隊のキャンプに参加しました。ジュニアリーダーとしてボーイ隊をサポートし、キャンプ生活のノウハウや野外工作の指導にあたりました。昨年度までボーイ隊だった1名のスカウトが参加し、今までのチームメイトに上級スカウトとして、指導することとなりました。

また4日は、同じく船橋県民の森のキャンプ場にてカブ隊の野外集会も行われ、そちらにもジュニアリーダーとして1名のスカウトが参加しました。

5/21 中野区ふれあい運動会奉仕

ボーイ隊のスカウトと一緒に、ふれあい運動会の奉仕に参加しました。1名のスカウトが参加しています。

5/27 隊オンライン隊集会を行いました。

5/28 ボーイ隊の野外隊集会に参加しました。前週の下見を基にコースを設定し、コース上でボーイ隊スカウトが取り組む課題の整備を行いました。カブ隊のハイキングにも1名のスカウトが参加しています。

ローバー(RS)隊



5/3-5 ボーイ隊のキャンプにKくん、Sくん、Mくんが参加しました。

5/10 ローバー隊の会議にKくん、Sくん、Mくんが参加しました。

5/11 ボーイスカウト地区円卓会議にYさんが参加しました。

5/13 ボーイスカウト講習会の打ち合わせにYさんが参加しました。

5/14 ビーバー隊の隊集会にYさんが参加しました。

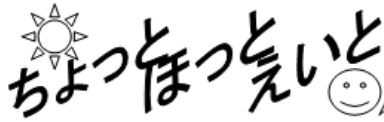
5/15 9月に企画している釣りキャンプの企画会議にKくん、Sくんが参加しました。

5/21 ボーイスカウト講習会に北川くん、Yさん、Sくん、Mくんが参加しました。

5/22 ボーイ隊の野外隊集会に向けた打ち合わせにKくんが参加しました。

5/27 9月企画の釣りキャンプの会議、第二回目を行いました。Kくん、Mくんが参加しました。

5/28 ボーイ隊の野外隊集会にKくん、Sくん、Mくん、ビーバー隊のハイキングにYさんが参加しました。



活動で見つけたほのぼの話

6/4 に総会と夏キャンプ各隊保護者会を行いました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。また総会資料についても昨年に引き続き、Google Driveでの共有とさせていただきました。この「お知らせ」についてもファイル送付という形を始めさせていただき、電子データ化を進めています。今年からは夏キャンプの申し込みもフォームへの入力という形を導入させていただきました。今後も指導者の手間削減のため、各種情報の電子データ共有を進めていきたいと考えています。また、データの電子化にあたり、IT 関連作業にお詳しい方にご協力をいただいておりますが、さらにご協力いただける方がいらっしゃいましたら、保護者様対象アンケートへのご回答でお知らせください。

他にもご協力いただきたいことや隊活動について保護者アンケートを実施しています。ご回答をよろしく願いいたします。



スカウト豆知識

「ビーバー部門とその歴史」

スカウト活動では、年齢に応じていくつかの部門に分かれています。カブ隊未満の年齢の子を対象にした部門をビーバー隊といいます。

教育の低年齢化の進行という時代の要請にこたえ、1970年頃からいろいろな国々でカブ年齢未満児を対象としてプログラムの研究が行われた結果、スカウト運動の一部門としてビーバー隊に正式に採用されるようになり、1980年代より国際的に広がりました。国ごとに生活様式や社会の仕組みがことなっていることから、それぞれに国の習慣、教育、スカウティングの伝統に応じた展開を図り、多彩な活動となっています。

日本でも、同じ頃から「カブ隊の集会についてくる弟妹や、指導者の子どもたちをなんらかの形で世話したい」という要望があがり、1986年（昭和61年）より、ビーバー隊が本格的に採用されることになりました。

ビーバー隊という名前は、最も古くからこの部門の活動を始めたカナダでつけられた名前です。カナダでの取り組みは、この年齢の子たちへのスカウティングの先駆者として、少なからず世界の多くの国々に影響を与えています。国によっては、違う名前の場合もあります。（アメリカの「タイガーカブ」ニュージーランドの「ケア」、デンマークの「マイクロスカウト」など）

ビーバースカウトは、小学校入学前の1月から小2までの子ども達です。その年代にわかりやすいように、「みんなとともになかよく遊ぶ」「自然に親しむ」「楽しみや喜びをわかちあう」という3つのことにねらいを置いて活動を展開しています。

リーダーの活動

- 5/7 団会議
- 5/13 地区ボーイスカウト講習会打合
- 5/13 地区円卓会議
- 5/15 地区委員会
- 5/20 夏キャ下見
- 5/20 ヲグ 研究会
- 5/21 東京連盟総会
- 5/21 地区ボーイスカウト講習会
- 5/21 地区ボーイスカウト講習会奉仕
- 5/22 地区ミッショナ-会議
- 5/27 団会議（OL）
- 5/28 地区円卓会議

* 活動の写真は団の Google Drive で共有しています。ご希望の方は各隊隊長にご自身の Google アカウントをご連絡ください(Google アカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。無料で簡単に作成できます)。

* Facebook ページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。

<https://www.facebook.com/nakano8/>